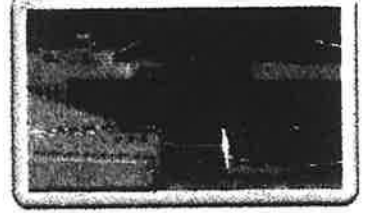


令和6年

1月食育たより



中城村学校給食共同調理場

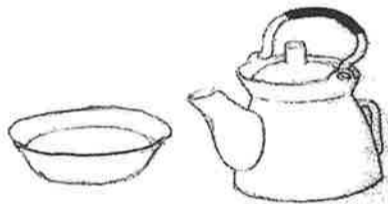
あけましておめでとうございます。本年もおいしい給食をつくってまいりますので、よろしくお願いいたします。1月は全国学校給食週間があります。これを機に身近な給食の役割について知り、考えてみましょう。

 1月24日から30日は**全国学校給食週間**です 

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて多くの方に知ってもらい、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められました。日本の学校給食は、明治22年に山形県の私立忠愛小学校において始まったとされています。この給食は、貧しくて生活に困っている子どもたちを対象に無償で出されたものでした。現在は、子どもたちの健康の増進や体位の向上を図ること、そして教材としての役割があります。

◎沖縄県の学校給食の移り変わり◎

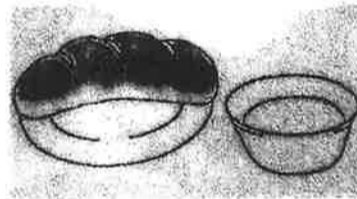
昭和30年



ミルク給食開始

沖縄県では、戦後の混乱の中、本土より約2年遅れでミルク給食が始まりました。

昭和35年



パンとミルクの給食

パンとミルクだけでは栄養が足りないということで、この頃の給食は、家庭からおかずを持参して、給食時間に食べていました。

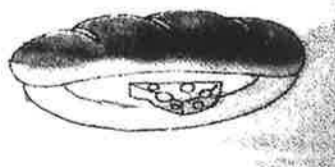
昭和37年

完全給食第一号
豊見城市
上田小学校



ミルク給食からリバック物資（脱脂粉乳、小麦粉、油脂（ショートニング）、コーンミール、米などの食物）を使用した給食となり、完全給食を実施する学校が出てきた。

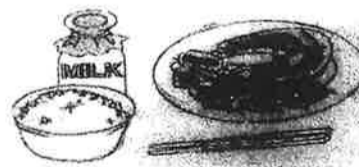
昭和38年



チーズがついた

完全給食が実施されていない学校では、パンとミルクの給食にチーズがつくようになりました。現在のチーズに比べ、色、味ともに濃くておいしかったです。

昭和51年



米飯給食開始

給食の主食に米飯が登場しました。これに伴い、おはしを使用するようになりました。

現在の給食



現在の給食とくらべたり、ご家庭で給食の思い出を話したりしてみませんか？

